

園名	あそか保育園
日時	令和7年3月

1, 活動テーマ

<テーマ>

5歳児・・・色々な表情のイラストに合わせて音を探そう

<テーマ設定理由>

・これまでの音遊びの中で自分で工夫して音を探す経験をしてきたので、その経験を活かした遊びができると思った。

2, 活動スケジュール

- ・身近な玩具や廃材で音探しをする。
- ・色々な表情のイラストを見て音を探す。

3, 活動のために準備した素材や道具、環境設定

- ・ラキュー ・オセロのコマ スズランテープ ・画用紙 ・廃材 ・椅子
- ・色々な表情のイラスト

(笑った顔、怒った顔、泣いた顔、困った顔、驚いた顔、眠い顔)

4, 探究活動の実践

<活動内容>

- ・玩具や廃材などでどんな音が出るのか鳴らしてみる。
- ・保育士が見せたイラストに合わせて工夫して音を探す。
- ・一番気に入った表情の音を互いに聞かせ合う。

○玩具や廃材などで音を鳴らしてみる。

- ・玩具が入ったかごを手で混ぜたり振ったりする
子ども：「カチャカチャうるさいね」
子ども：「色々な音がして楽しい」



○イラストを見て音を再現する。

- ・椅子を叩いたり手の中にラキューを入れて振ってみたり工夫しながらイラストに合った音を探す



- ・スズランテープを擦って

子ども：「笑ったときの『ははは』って音に似てる」

子ども：「もっと早く動かしたらもっと笑ってるみたい」

- ・オセロのコマを一つずつ落とす

子ども：「涙が落ちる音だよ」

子ども：「涙みたいにゆっくり落としてみる」



子ども：「僕は泣き虫だからラキューをたくさん落としてみよう」

- ・画用紙を勢いよく引っ張って音を出す

子ども：「『は！』って驚いてる時みたいな音が出た」

子ども：「本当だ、面白い！僕は小さい音しか出ない...」

子ども：「こうやってやるんだよ」



○一番気に入った表情の音を聞かせ合う

5, 振り返り

<振り返りによって得た保育士の気づき>

・これまでの音遊びの経験があることですぐに子ども自身が音を鳴らして遊ぼうとする姿が見られた。表情によってダイナミックな表現、繊細な表現の違いが明確で、その場の子どもが共通して違いがあったことに面白さを感じた。また、年間を通して音遊びをしてきたことで物を組み合わせて音を鳴らしたり些細な音の違いに気が付いたりすることができており、繰り返しテーマに沿って遊ぶことで発想力が養われていくのだと感じた。